

FormPat 4

環境ファイル・リファレンスガイド

Digital Assist Corporation

2014/11/12



Copyright(C) 2014 Digital Assist Corporation. All rights reserved.

目次

目次	2
はじめに	3
Web.config ファイル	4
システム環境ファイル(control.config)	5
ユーザー環境ファイル(usercontrol.config)	11

はじめに

本書では、電子フォームとワークフローシステム FormPat 4（以下、FormPat）を稼働させるために必要な環境ファイルについて説明します。

本書は、FormPat Ver.4.0.1.1 以降を対象としています。

本書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標です。

Web.config ファイル

Web.config ファイルは FormPat をインストールフォルダ存在します。

テキストエディタで変更が可能です。運用中システムの変更はユーザーがログインしていない状態で行ってください。

1. ログファイルのパス

```
<add key="logfile" value="C:¥FormPatData¥temp¥"/>
```

C:¥FormPatData¥temp¥ はログファイル(LogFileyyyyymm.log)を格納するパスを設定します。

2. ログファイルの出力レベル

```
<add key="errorlevel" value="2" />
```

2 はエラー情報を出力する場合は 1、ステータス情報を出力する場合は 2、詳細情報を出力する場合は 3 を設定します。ログファイルの容量は 1 < 2 < 3 となります。

システム環境ファイル(control.config)

control.config ファイルは FormPat をインストールフォルダ存在します。

テキストエディタで変更が可能です。運用中システムの変更はユーザーがログインしていない状態で行ってください。

1. データフォルダのパス

```
<addr_abs_data>C:¥FormPatData¥data¥</addr_abs_data>
```

C:¥FormPatData¥data¥ はフォームデータ(拡張子.xml)を格納するフォルダを絶対パスで設定します。

データフォルダをデフォルトパス以外に移動する場合に設定してください。

2. フォームフォルダのパス

```
<addr_abs_form>C:¥FormPatData¥form¥</addr_abs_form>
```

C:¥FormPatData¥form¥ は FormPat Designer で定義したフォーム定義(拡張子.xml)を格納するフォルダを絶対パスで設定します。

フォームフォルダをデフォルトパス以外に移動する場合に設定してください。

3. イメージフォルダのパス

```
<addr_abs_image>C:¥FormPatData¥image¥</addr_abs_image>
```

C:¥FormPatData¥image¥ は FormPat Designer で定義したイメージファイル(拡張子.jpg)を格納するフォルダを絶対パスで設定します。

イメージフォルダをデフォルトパス以外に移動する場合に設定してください。

4. 印鑑フォルダのパス

```
<addr_abs_esd>C:¥FormPatData¥esd¥</addr_abs_esd>
```

C:¥FormPatData¥esd¥ は 捺印時に使用する印鑑画像ファイル(拡張子.png)を格納するフォルダを絶対パスで設定します。

印鑑フォルダをデフォルトパス以外に移動する場合に設定してください。

5. テンポラリフォルダのパス

```
<addr_abs_temp>C:¥FormPatData¥temp¥</addr_abs_temp>
```

C:¥FormPatData¥temp¥ は FormPat が作業中の一時ファイルを格納するフォルダを絶対パスで設定します。

一時ファイルをデフォルトパス以外に移動する場合に設定してください。

6. インポートテンポラリフォルダのパス

```
<addr_abs_import>C:¥FormPatData¥tempimport¥</addr_abs_import>
```

「インポート」オプションを導入される場合のみ使用します。

C:¥FormPatData¥tempimport¥ は FormPat がインポート作業中の一時ファイルを格納するフォルダを絶対パスで設定します。

一時ファイルをデフォルトパス以外に移動する場合に設定してください。

7. 添付フォルダのパス

```
<attachabs>C:¥FormPatData¥att¥</attachabs>
```

C:¥FormPatData¥att¥ は フォームデータに添付するファイルを格納するフォルダを絶対

パスで設定します。

添付フォルダをデフォルトパス以外に移動する場合に設定してください。

8. データフォルダのサブフォルダ単位

```
<subfolder_mode>1,1000</subfolder_mode>
```

データフォルダ内を一定のデータファイル数毎にサブフォルダ化します。

[1](#) はサブフォルダ化する開始データ ID を設定します。データ ID はシステム使用開始時に 1 から自動採番されるため通常は変更不要です。

[1000](#) はサブフォルダに格納されるデータファイル数を設定します。ただし、データファイルは複数の関連ファイルから構成されるため実際に格納されるファイル数は設定値の数倍になります。

9. ログイン有効時間

```
<logontime>180</logontime>
```

[180](#) はユーザーがサーバーへ何も要求しない場合の、タイムアウトまでの時間を分単位で入力します。最大値は 9999 分です。

長すぎると設定時間まで不要なセッションが残りサーバーに負荷を与えますが、短すぎるとタイムアウトの頻度が増します。導入環境に合わせて設定してください。

10. 電子メール機能の有無

```
<smtp_on>0</smtp_on>
```

[0](#) はワークフローで申請フォーム受信時の電子メール機能を利用しない場合は 0 、利用する場合は 1 を設定します。

11. メール送信の環境

```
<smtp_auth>mode=0;smtp_server=smtp.domain.co.jp;smtp_port=25;pop3_server=pop3.domain.co.jp;pop3_port=110;uid=account;pwd=accountPwd;sender_address=id@domain.co.jp</smtp_auth>
```

電子メール機能を利用する場合はメール送信環境を設定します。電子メール機能を利用しない場合は変更不要です。

[0](#) はメールサーバーの SMTP 認証方式を設定します。SMTP 認証の必要ない場合は 0 、
「AUTH-PLAIN」認証方式は 1、「AUTH-LOGIN」認証方式は 2、「AUTH-CRAM-MD5」認証方式は 3、「POP before SMTP」認証方式は 4 を設定します。

[smtp.domain.co.jp](#) は SMTP サーバー名を設定します。(すべての認証方式で設定が必要です。)

[25](#) は SMTP ポート番号を設定します。(すべての認証方式で設定が必要です。)

[pop3.domain.co.jp](#) は POP3 サーバー名を設定します。(mode=4 のとき設定が必要です。)

[110](#) は POP3 ポート番号を設定します。(mode=4 のとき設定が必要です。)

[account](#) は SMTP 認証のアカウント名を設定します。(mode=1 or 2 or 3 or 4 のとき設定が必要です。)

[accountPwd](#) は SMTP 認証のパスワードを設定します。(mode=1 or 2 or 3 or 4 のとき設定が必要です。)

[id@domain.co.jp](#) はメール送信を行うメールアドレスを設定します。(すべての認証方式で設定が必要です。)

12. データベースの環境

```
<database>server=127.0.0.1;uid=sa;pwd=password;Initial Catalog=FormPat</database>
```

[127.0.0.1](#) はサーバー運用ならデータベースのホスト名または IP アドレスを設定します。
スタンドアロン運用なら変更不要です。

[sa](#) はログイン名を設定します。

デフォルトでインストールされた場合は変更不要です。

[password](#) はログイン名のパスワードです。

データベースのインストールで入力したパスワードを設定します。

Initial Catalog=FormPat は変更不要です。

13. データベースのタイムアウト時間

```
<dbtimeout>30</dbtimeout>
```

[30](#) はデータベース実行処理の待機時間を秒単位で入力します。0 は制限なしを示しますが永久的に待機されるため使用しないでください。

通常は変更不要です。状況により変更してください。

14. XML データ・データベース格納の有無

```
<xml_db>0</xml_db>
```

[0](#) は XML データおよび関連ファイルをデータベースに格納するか設定します。

XML データおよび関連ファイルをデータベースに格納しない場合は 0、格納する場合は 1 を設定します。

対象のファイルは、データ XML ファイル(フォーム名-連番.xml)、印鑑 XML ファイル(フォーム名-連番_BoxStamp.xml)、履歴 XML ファイル(フォーム名-連番_History.xml)、ワークフロー XML ファイル(フォーム名-連番_Route.xml)、印鑑ファイル(印鑑名.png)です。

フォーム定義 XML ファイル、添付ファイル、貼り付け画像ファイル、手書き画像ファイルは設定にかかわらずデータベースに格納されません。

SQL Server 2005 Express Edition 環境等のデータベース容量に制約が有る場合は 0、データベース容量に制約が無い場合はバックアップの利便性を考慮して 1 の設定を薦めますが運用環境を考慮して設定してください。

運用中に設定変更も可能です。その場合、登録・更新されたデータから順次設定が反映されます。

15. 検索結果最大行数

```
<searchmaxline>200</searchmaxline>
```

[200](#) はデータ検索機能の検索結果として応答する最大行数を設定します。

運用環境によるパフォーマンス確保のため、必要により設定してください。

16. データベース参照定義ファイル - イメージフォルダのパス

```
<reference_imagepath>C:¥database¥image¥</reference_imagepath>
```

データベース参照定義ファイルを使用し、参照先データベースからイメージ(画像)ファイルを参照する場合に設定します。

データベース参照定義ファイル、またはイメージファイルを未使用なら変更は不要です。
`C:¥database¥image¥` はイメージファイルが格納されているフォルダを絶対パスで設定します。この場合、データベースにはイメージファイルのファイル名が格納されているものとします。

データベースに絶対パス付きでファイル名が格納されている場合は空白にします。

17. 統合 Windows 認証

`<authentication>0</authentication>`

0 は FormPat ログイン認証に、統合 Windows 認証を利用するか設定します。

統合 Windows 認証を使用しない場合は 0、使用する場合は 1 を設定します。

FormPat 導入時は、0 を設定します。統合 Windows 認証は FormPat 導入処理完了後、設定してください。

詳しくは「環境設定ガイド」の「統合 Windows 認証について」を参照してください。

18. Active Directory アクセス権連携

`<adauth_mode>0</adauth_mode>`

0 はフォームデータへのアクセス権設定を FormPat で行うか、Active Directory のアクセス権から取得するか設定します。

FormPat でアクセス権設定を行う場合は 0、Active Directory のアクセス権から取得する場合は 1 を設定します。

詳しくは「環境設定ガイド」の「統合 Windows 認証について」を参照してください。

19. Active Directory アクセス権連携フォルダのパス

`<adauth_path>C:¥FormPatAD¥</adauth_path>`

`C:¥FormPatAD¥` はフォームデータへのアクセス権を Active Directory から取得する場合の Active Directory のアクセス権設定が行われているサブフォルダが含まれるフォルダを設定します。

詳しくは「環境設定ガイド」の「統合 Windows 認証について」を参照してください。

20. ダウンロード同時実行可能数

`<downloadmax>1</downloadmax>`

「エクスポート」オプションを導入の場合のみ使用します。

1 はエクスポート時に Web サーバーで HTTP ダウンロードを実行しますがその時の同時実行数を設定します。

通常は変更不要です。状況により変更してください。

21. カスタム DLL 関数コールの有無

`<customdllmode>0</customdllmode>`

0 は FormPat (FormPat Mobile 含む) に導入ユーザー独自の関数を追加しない場合は 0、追加する場合は 1 を設定します。

通常は変更不要です。状況により変更してください。

22. 取消し確認メッセージの有無

`<cancelmsg>0</cancelmsg>`

0 は フォーム入力画面で[取消]、[メニューへ]ボタンをクリックしたとき、確認メッセー

ジを表示しない場合は 0、表示する場合は 1 を設定します。

通常は変更不要です。状況により変更してください。

23. 印鑑捺印確認メッセージの有無

<stampmsg>0</stampmsg>

0 は 印鑑捺印を実行したとき、確認メッセージを表示しない場合は 0、表示する場合は 1 を設定します。

通常は変更不要です。状況により変更してください。

24. 連続入力確認メッセージの有無

<repeatmsg>0</repeatmsg>

0 は フォーム連続入力を実行したとき、確認メッセージを表示しない場合は 0、表示する場合は 1 を設定します。

通常は変更不要です。状況により変更してください。

25. 印鑑サイズの初期値

<stampsize>120,120</stampsize>

120,120 は ユーザー登録画面に表示する印鑑サイズの初期値を設定します。

幅, 高さ の順序で 0.1mm 単位に設定します。

氏名のみの印鑑は基本的に変更不要ですが、日付印を使用される場合は 16mm 以上を推奨します。

26. 印刷フォントサイズの自動調整

<multirow_font>1,5,0</multirow_font>

印刷時に複数行設定されている項目を枠内に文字が収まるようフォントサイズを自動調整するか設定します。

1 は自動調整しない場合は 0、自動調整する場合は 1 を設定します。

5 は自動調整する場合の調整単位を設定します。1 は 0.1mm を表し 5 の場合は 0.5mm を調整単位とします。

0 は現在未使用です。

27. 日付印の有無

<datestamp>0</datestamp>

0 は 印鑑捺印の印鑑形式を設定します。

通常印(氏名等の固定文字の印鑑)は 0、日付印(中央に捺印日付が入る印鑑)は 1 以上を設定します。1 以上の設定値は下記の通りです。

例えば 2006 年 1 月 2 日の場合、

1 は 2006.01.02、 2 は 2006/01/02、 3 は 2006.1.2、 4 は 2006/1/2

11 は '06.01.02、 12 は '06/01/02、 13 は '06.1.2、 14 は '06/1/2 と表現されます。

28. デバッグモードの有無

<debugmode>0</debugmode>

0 は デバッグモードの有無を設定しますが、通常はデフォルト値を変更する必要はありません。

フォーム検索結果にシステム管理 ID を表示しない場合は 0 、表示する場合は 1 を設定します。

上記以外の設定項目は変更しないでください。

システム環境ファイルには、上記以外に他のアプリケーションとのシングルサインモード、他のワークフローシステムへの申請モードを用意しています。

これらは個別対応させていただきます。弊社までお問合せください。

ユーザー環境ファイル(usercontrol.config)

usercontrol.config ファイルは FormPat をインストールフォルダ存在します。

テキストエディタで変更が可能です。運用中システムの変更はユーザーがログインしていない状態で行ってください。

1. 背景画像のパス

```
<backimage> back.jpg</backimage>
```

[back.jpg](#) は FormPat の背景画像を設定します。

FormPat のカレントフォルダ以外から背景画像を表示する場合にはフルパスで設定します。

(例)C:¥FormPat¥back.jpg

2. 作成者のメニュー表示

```
<create>1</create>
```

[1](#) はメニューに表示するフォーム選択の有無を設定します。

データ作成者がいずれかの権限を有しているフォームのみを表示する場合は 0、すべてのフォームを表示する場合は 1 を設定します。

Active Directory アクセス権連携を行う場合に 0 を設定することで、ログインユーザー毎の動的なメニュー表示が可能です。

3. 作成者の表示権限

```
<display>1</display>
```

[1](#) はデータ作成者に該当データへの表示権限を与える場合は 1、与えない場合は 0 を設定します。

4. 作成者の修正権限

```
<update>1</update>
```

[1](#) はデータ作成者に該当データへの修正権限を与える場合は 1、与えない場合は 0 を設定します。

5. 作成者の削除権限

```
<delete>1</delete>
```

[1](#) はデータ作成者に該当データへの削除権限を与える場合は 1、与えない場合は 0 を設定します。

6. 作成者の印刷権限

```
<print>1</print>
```

[1](#) はデータ作成者に該当データへの印刷権限を与える場合は 1、与えない場合は 0 を設定します。

7. フォーム表示のズーム倍率

```
<formrate>150,145,140,135,130,125,120,115,110,105,100,95,90,85,80,75,70,65,60,55,50</formrate>
```

[150,145,...,55,50](#) はフォーム表示画面で選択可能なズーム倍率を設定します。

8. フォーム表示のズーム倍率表示

<formrated>150%,145%,140%,135%,130%,125%,120%,115%,110%,105%,100%,95%,90%,85%,80%,75%,70%,65%,60%,55%,50%</formrated>

150%,145%,...,55%,50% はフォーム表示画面のズーム倍率のドロップダウンリストに表示する文字を設定します。

必ず、<formrate>と<formrated>の定義数は一致する必要があります。

9. ページ操作ボタン表示の有無

<pagebutton>1</pagebutton>

1 は複数ページのフォームに対して、ページ操作ボタンをフォームに表示する場合は 1、表示しない場合は 0 を設定します。

10. フォーム検索条件の標準期間

<searchterm>1y</searchterm>

1y はフォーム検索条件の更新日を標準で何年(月、日)前から今日までにするかを設定します。1 は年数または月数または日数を表します。

y は単位を表します。年は y、月は m、日は d です。

(例) 1 年前から今日までなら 1y、2ヶ月前から今日までなら 2m、3 日前から今日までなら 3d と設定します。

11. フォーム検索結果の 1 ページ内行数

<searched_pagerow>15</searched_pagerow>

15 はフォーム検索結果の 1 ページ内に表示するデータ行数を設定します。

12. フォーム検索結果の見出し文字色

<title_forecolor>ffffff</title_forecolor>

ffffff はフォーム検索結果の見出し文字色を RGB 値の 16 進数で設定します。

フォーム複写の検索結果にも兼用しています。

13. フォーム検索結果の見出し背景色

<title_backcolor>0077dd</title_backcolor>

0077dd はフォーム検索結果の見出し背景色を RGB 値の 16 進数で設定します。

フォーム複写の検索結果にも兼用しています。

14. フォーム検索結果の奇数行文字色

<standard_forecolor>000000</standard_forecolor>

000000 はフォーム検索結果の奇数行文字色を RGB 値の 16 進数で設定します。

フォーム複写の検索結果にも兼用しています。

15. フォーム検索結果の奇数行背景色

<standard_backcolor>ffffff</standard_backcolor>

ffffff はフォーム検索結果の奇数行背景色を RGB 値の 16 進数で設定します。

フォーム複写の検索結果にも兼用しています。

16. フォーム検索結果の偶数行文字色

<even_forecolor>000000</even_forecolor>

000000 はフォーム検索結果の偶数行文字色を RGB 値の 16 進数で設定します。

フォーム複写の検索結果にも兼用しています。

17. フォーム検索結果の偶数行背景色

<even_backcolor>ccffff</even_backcolor>

ccffff はフォーム検索結果の偶数行背景色を RGB 値の 16 進数で設定します。

フォーム複写の検索結果にも兼用しています。

18. フォーム検索結果の既読フォーム色

<looked_backcolor>c0c0c0</looked_backcolor>

c0c0c0 はフォーム検索結果よりフォームを開いた明細行の色を RGB 値の 16 進数で設定します。

19. フォーム検索結果の更新フォーム色

<update_backcolor>99cc00</update_backcolor>

99cc00 はフォーム検索結果よりフォームを修正した明細行の色を RGB 値の 16 進数で設定します。

20. フォーム検索結果の削除フォーム色

<delete_backcolor>ff0000</delete_backcolor>

ff0000 はフォーム検索結果よりフォームを削除した明細行の色を RGB 値の 16 進数で設定します。

21. 送信一覧・受信一覧の 1 ページ内行数

<sendreceive_pagerow>15</sendreceive_pagerow>

15 は送信・受信一覧の 1 ページ内に表示するデータ行数を設定します。

送信一覧・受信一覧の文字色、背景色は上記のフォーム検索結果の設定に従います。

22. フォーカス枠スタイル

<focus_frame_style>2,solid,ff0000</focus_frame_style>

フォーム入力画面でフォーカスを受けた入力項目を強調表示するための枠スタイルを設定します。

2 は枠幅をピクセル単位で設定します。

solid は枠線のスタイルを設定します。none は枠線なし、dotted は点線、dashed は破線、solid は実線、double は二重実線、groove は枠をくぼみ表示、ridge は枠を浮き出し表示、inset は入力項目をくぼみ表示、outset は入力項目を浮き出し表示です。

ff0000 は枠色を RGB 値の 16 進数で設定します。

23. 付箋色 1

<slipcolor1>赤,ffffff,ff0000</slipcolor1>

赤 は付箋画面のスタイルへ表示するテキストを設定します。

ffffff は付箋の背景色を RGB 値の 16 進数で設定します。

ff0000 は付箋の外枠色を RGB 値の 16 進数で設定します。

24. 付箋色 2～付箋色 10

上記と同様です。

25. 申請メールの件名

<kisub>FormPat メール：申請通知</kisub>

FormPat メール：申請通知 は申請者から承認者へ申請した旨の送信メールの件名を設定します。

26. 申請メールの本文

<kibody>申請しました。<改行><改行>申請者：+user<改行>文書名：+name<改行>コメント：+comment</kibody>

申請しました。<改行><改行>申請者：+user<改行>文書名：+name<改行>コメント：+comment は申請メールの本文を設定します。+user は申請者名、+name はフォーム名、+comment は申請コメントと置換されます。+user、+name は申請メールの件名にも使用できます。

メール本文に FormPat ログイン画面の URL を設定しメールソフトのハイパーリンク機能を利用することも可能です。これは以降のメール本文でも利用可能です。(スキップメールのみ対象外)

ハイパーリンク記述例: [http://ホスト名/FormPat/?flrfmndid="+form](http://ホスト名/FormPat/?flrfmndid=)

27. 再申請メールの件名

<rasub>FormPat メール：再申請通知</rasub>

FormPat メール：再申請通知 は却下されたフォームを申請者から承認者へ再申請した旨の送信メールの件名を設定します。

28. 再申請メールの本文

<rabody>再申請しました。<改行><改行>申請者：+user<改行>文書名：+name<改行>コメント：+comment</rabody>

FormPat メールサービス<改行><改行>再申請しました。<改行>申請者：+user<改行>文書名：+name は再申請メールの本文を設定します。+user は申請者名、+name はフォーム名、+comment は再申請コメントと置換されます。+user、+name は再申請メールの件名にも使用できます。

29. 取り戻しメールの件名

<tmsub>FormPat メール：取り戻し通知</tmsub>

FormPat メール：取り戻し通知 は申請したフォームを申請者が承認者から取り戻した旨の送信メールの件名を設定します。

30. 取り戻しメールの本文

<tmbody>取り戻しました。<改行><改行>申請者：+user<改行>文書名：+name</tmbody>

取り戻しました。<改行><改行>申請者：+user<改行>文書名：+name は取り戻しメールの本文を設定します。+user は申請者名、+name はフォーム名と置換されます。+user、+name は取り戻しメールの件名にも使用できます。

31. 承認メールの件名

<sisub>FormPat メール：承認通知</sisub>

FormPat メール：承認通知 は承認者から次の承認者へ承認した旨の送信メールの件名を設定します。

32. 承認メールの本文

```
<sibody>承認しました。<改行><改行>承認者 : +user<改行>文書名 : +name<改行>コメント : +comment</sibody>
```

承認しました。<改行><改行>承認者 : +user<改行>文書名 : +name<改行>コメント : +comment は承認メールの本文を設定します。+user は承認者名、+name はフォーム名、+comment は承認コメントと置換されます。+user、+name は承認メールの件名にも使用できます。

33. 却下メールの件名

```
<kysub>FormPat メール : 却下通知</kysub>
```

FormPat メール : 却下通知 は承認者から申請者または前の承認者へ却下した旨の送信メールの件名を設定します。

34. 却下メールの本文

```
<kybody>却下しました。<改行><改行>却下者 : +user<改行>文書名 : +name<改行>コメント : +comment</kybody>
```

却下しました。<改行><改行>却下者 : +user<改行>文書名 : +name<改行>コメント : +comment は却下メールの本文を設定します。+user は却下者名、+name はフォーム名、+comment は却下コメントと置換されます。+user、+name は却下メールの件名にも使用できます。

35. 再申請請求メールの件名

```
<adsub>FormPat メール : 再申請請求通知</adsub>
```

FormPat メール : 再申請請求通知 は承認者から申請者または前の承認者へ再申請請求した旨の送信メールの件名を設定します。

36. 再申請請求メールの本文

```
<adbody>再申請請求しました。<改行><改行>請求者 : +user<改行>文書名 : +name<改行>コメント : +comment</adbody>
```

再申請請求しました。<改行><改行>請求者 : +user<改行>文書名 : +name<改行>コメント : +comment は再申請請求メールの本文を設定します。+user は請求者名、+name はフォーム名、+comment は再申請請求コメントと置換されます。+user、+name は却下メールの件名にも使用できます。

37. 再承認請求メールの件名

```
<rdsb>FormPat メール : 再承認請求通知</rdsb>
```

FormPat メール : 再承認請求通知 は承認者から前の承認者へ再承認請求した旨の送信メールの件名を設定します。

38. 再承認請求メールの本文

```
<rdbdy>再承認請求しました。<改行><改行>請求者 : +user<改行>文書名 : +name<改行>コメント : +comment</rdbdy>
```

再承認請求しました。<改行><改行>請求者 : +user<改行>文書名 : +name<改行>コメント : +comment は再承認請求メールの本文を設定します。+user は請求者名、+name は

フォーム名、+comment は再承認請求コメントと置換されます。+user、+name は却下メールの件名にも使用できます。

39. 決裁メールの件名

<kesub>FormPat メール：決裁通知</kesub>

FormPat メール：決裁通知 は最終承認者(決裁者)から申請者へ決裁した旨の送信メールの件名を設定します。

40. 決裁メールの本文

<kebody>決裁しました。<改行><改行>決裁者：+user<改行>文書名：+name<改行>コメント：+comment</kebody>

決裁しました。<改行><改行>決裁者：+user<改行>文書名：+name<改行>コメント：+comment は決裁メールの本文を設定します。+user は決裁者名、+name はフォーム名、+comment は決裁コメントと置換されます。+user、+name は決裁メールの件名にも使用できます。

41. 経路変更メールの件名

<khsub>FormPat メール：経路変更通知</khsub>

FormPat メール：経路変更通知 は承認者を変更した旨の送信メールの件名を設定します。

42. 経路変更メールの本文

<khbody>経路変更されました。<改行><改行>申請者：+user<改行>文書名：+name</khbody>

経路変更されました。<改行><改行>申請者：+user<改行>文書名：+name は経路変更メールの本文を設定します。+user は申請者名、+name はフォーム名と置換されます。+user、+name は経路変更メールの件名にも使用できます。

43. スキップメールの件名

<sksub>FormPat メール：承認通知</sksub>

FormPat メール：承認通知 は承認者が承認後、次の承認者を承認経路から省いた旨の送信メールの件名を設定します。

44. スキップメールの本文

<skbody>承認されました。直前の担当者はスキップされました。<改行><改行>申請者：+user<改行>文書名：+name</skbody>

承認されました。直前の担当者はスキップされました。<改行><改行>申請者：+user<改行>文書名：+name はスキップメールの本文を設定します。+user は申請者名、+name はフォーム名と置換されます。+user、+name はスキップメールの件名にも使用できます。

45. 承認期限監視サービス監視間隔(分)

<interval>10</interval>

「承認期限監視サービス」オプションを導入される場合のみ使用します。

10 は承認期限監視サービスの監視間隔を分単位で設定します。

46. 承認期限遅延メールの件名

<tisub>FormPat メール：承認期限通知</tisub>

「承認期限監視サービス」オプションを導入される場合のみ使用します。

FormPat メール：承認期限通知 は承認期限が遅延している旨の送信メールの件名を設定します。

47. 承認期限遅延メールの本文

<tibody>承認期限を過ぎている文書があります。<改行><改行>+name(文書名に●が付いているとき) <改行>あなたに承認期限は設定されていませんが、後ろの承認者の承認期限が<改行>過ぎています。</tibody>

承認期限を過ぎている文書があります。<改行><改行>+name(文書名に●が付いているとき) <改行>あなたに承認期限は設定されていませんが、後ろの承認者の承認期限が<改行>過ぎています。 は承認期限遅延メールの本文を設定します。+name はフォーム名、表題名、申請者、遅延日数と置換されます。

上記以外の設定項目は変更しないでください。